

トランプに何が起きているか？ 現在の米共和国は絶対的な窮地に陥っている

トランプ大統領は今すぐに我々の助けを必要としている

【訳者注】この問題にアメリカも日本も関係がない。とにかく真実に目覚めることに、すべてが掛かっている。一人でも多くの人々が知ることが、最大の武器となる。私は仮にトランプが暗殺されても、時代の方向そのものを変えることはないと信じている。理由はずっと言ってきた。その問題を論じてきた。

もし一週間前の拙論、「偏向報道が、いよいよ犯罪として明らかになったとき」を読まれ、納得のいかなかったメディア関係者がおられたら、これを読んでいただきたい。それでもまだ納得できなければ、サイト SGT Reportなどを推奨する。spiritualな観点なしに、この時局を根底から理解はできないが、このサイトにはそれがある。

SOTN

January 29, 2019

SOTN 編集者より：下の反応は、米連邦政府の内部の働きを、何十年も研究し調査してきた者の結論である。これらの歴史的事実と政治的現実の一部は、読者には、全く知られていないかもしれない。しかし、それらの一つひとつは、アメリカ共和国の危機的な現状を考慮すると、きわめて深刻に考えなければならないものである。

まず、知っておいていただきたいが、この SOTN の反応は、現在のアメリカ共和国の**悪化**していく状態について、特にドナルド・トランプ大統領の本当の現状について、我々に E メールしてくれる人々に向けたものである。

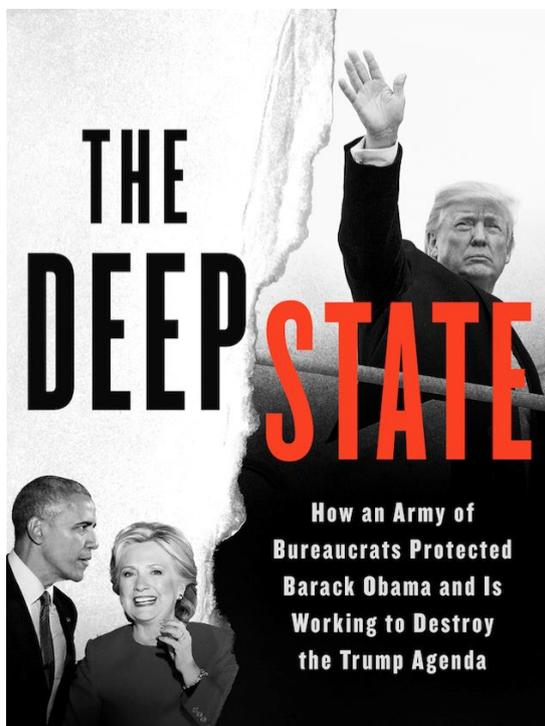
多くの人々がいろんな意見を述べている：——トランプは敗北した。彼は諦めた。彼は占領された。彼は妥協し、出口のない暗い隅に追い込まれた。

他の人々は、大統領は彼の選挙公約を破ったと言い、あるいは、そもそも約束を守るつもりなど初めからなかった、と言っている。

愛国者のある人たちは、大統領は、深刻なマインドコントロール、または精神を変更させる薬物を与えられていて、そのおかげで彼はMAGA (Make America Great Again) のアジェンダを効果的に実行できないのだ、とさえ言っている。また政治評論家の中には、我々はみんなメキシコ問題で睨み合いをしている、と確信している向きもあり、もしどちらかが引き金を引けば、超危険な取り返しのつかぬ事態が発生し、その結果は、アメリカと世界全体にとって、大きな終末になり得ると言っている。

さらには、大統領はひそかに、深層国家の捕虜になっているのではないかと恐れる者もある。CIA が彼を、大統領執務室の中に軟禁しているのではないか。そしてこの陰の政府が、実はすべての命令を出しているのではないか？

これらはすべて、我々の読者のそれぞれが、ホワイトハウスの現況について「確信している」可能性の、ほんの一例である。



官僚たちの大群がバラク・オバマを保護し、トランプのアジェンダを破壊しようとしている

トランプの大統領としての現実

データ・ポイント: 大統領職とはアメリカという大企業の会長である。そのような者として、

この政府-企業集合体は、重役会議をもっており、それはこの場合には完全に隠されている。

このひそかな重役会議は、それ自体、ある統治団体に対して責任があり、それはまた、一般の認識から更に遠く離れたリーダーシップのレベルに責任がある。それが少なくとも、1913年の連邦準備法以来のあり方であり、そのとき、Fed（連邦準備理事会）は、アメリカ連邦政府の完全な統制を効果的に委譲された。その歴史的な、不幸な出来事の前は、アメリカ大統領職に代わって、他の秘密の統制団が根付いていた。

ポイントは何か？

最上の言い方をしても、これら高度に強制的な制度的な取り決めがあるとしたら、トランプには、これくらいのことしかできない。極端に強力で、浸透力をもつ深層国家が、彼を抑え込もうと巨大な構えを取っているとしたら、彼の能力はもっと弱くなる。極端に両極化された政治的情勢を考えるなら、トランプの仕事はその分だけ、より難しくなった。しかも、理解すべき重要なことは、いわゆる民主党とは、実は隠れ共産党、社会党、ボルシェビキであり、それも生半可ではないことである。

この肝心な理解があるならば、たとえトランプが彼の MAGA アジェンダを実行する、あらゆる意思をもっていても、今日のような状況では、それはほとんど不可能なことがわかるだろう。

トランプはまた心の最も深いところで、自分の最初の仕事は、深層国家と共にオバマネーションを壊滅させることだということを知っている。（Obamanation はおそらく abomination=「忌まわしい風習」に掛かっている）なぜなら、新しいアメリカ共和国を、東岸から西岸にかけて、「ソドムとゴモラ」が猖獗をきわめるままで、建設することは文字通り不可能だからである。これらの例外的に強力な、政治と、経済と、金融のセンターが、歯と爪を剥いて、毎時、毎瞬、彼に襲い掛かろうとする中で、彼が何を、継続的效果をもって成し遂げることができようか！？

キーポイント：真実から目をそらさないように。ロバート・ミュラーを「特別顧問」に任命したのは、トランプを更に縛り上げようとする、深層国家の策略にほかならず、それはある程度効を奏した。ミュラーもまた、すべての民主党の犯罪と腐敗を隠すのにそれを利用した。「MULE ゲイト：ミュラーは法の原則を破壊して、無法の原則に置き替えようとしている」 <http://stateofthenation2012.com/?p=114665>

ここで何が肝心のポイントか？

トランプ大統領は、彼の仕事を果たした。彼は、自分の大統領としての第一の任務を果たした。今、「我々人民」が、決定的な役目を果たすときである。彼が、民主党支配の下院に対して、大きな目標を達成することはできない。彼はそれを知っている。

彼はまた、愛国運動、ナショナリスト、保守派やキリスト教徒、リバタリアンや独立党に向けて、自分の手が縛られていることを通信することによって、大きな仕事を果たしている。これは彼が、我々の助けを必死に求めているということである。

彼は真剣な人民の力を、自分の翼の下に集めることを必要としている——歴史上こういうことはなかった！

過去数週間に起こったことを考えてみれば、大統領が、完全に拘束服を着せられていることは、明らかではなく——いくつかのツイートを打ち出すほどの余地しかないのだ。

大統領執務室へ入る前に、すでにトランプは、高い役職を果たすのに、いくつかの現実的な取り決めや条件に合意するよう強制された。これが、いまだにオバマが、平気で大通りを歩いている理由である。それはこういうものだ：——

「陰の政府は、トランプにサインさせて、内密の契約を結ばせることまでやっており、これを強制する方法はいくらでもある。時の権力（TPTB）は、彼がこの秘密の契約にサインするまでは、ホワイトハウスに近づくことさえ許さない。この契約には、いかなる前任の大統領をも、戦争犯罪や、他のどんな高い犯罪や誤った行動によっても、起訴しないという厳しい約束が含まれる。事実上、JFK 以来のあらゆる大統領は、このような約束に署名させられ、その不履行は死をもって償うというものだった。」（ソース：Donald Trump Is in Serious Trouble <http://stateofthenation2012.com/?p=22842>)

これは大統領重役と US 企業の間で交わされる、極秘の内密契約の、ほんの一条項にすぎない。他にも、最も基本的な、彼の義務の履行を妨げたり、彼の MAGA アジェンダの鍵的部分の実行を妨げるような、重要な取り決めや条件がある。トランプが立候補を決意する前に、このような制限や取り決めの多くを、知らなかった可能性はきわめて高い。

それでどうするか？

「我々人民」が行動しなければならない。

大統領に対するこうした作り事の制限は、どれ一つとして、いかなる意味においても、合法的ではない。

したがってトランプ大統領は、この「陰の政府」と国際銀行カルテルのくびきを、かなぐり捨てる権利がある。しかし、彼は最初に、彼を十分に支えてくれる批判的な愛国者集団を必要としている。

深層国家を本当に打ちのめすための、最初の事務的命令は、中心的な柱を壊すことである――すなわち、CIAのモッキングバード・メディア（操作戦略メディア）の破壊である。ひとたび、その注意深くコントロールされた破壊がなされれば、すべては一昼夜にして変わる。参照：「モッキングバード・メディアは、閉鎖するか崩壊させなければならない」

<http://stateofthenation2012.com/?p=114484>

しかし、この絶対的な必要には、**巨大な**注意事項がついている。

トランプは一線を越えれば無力化される

ホワイトハウス西棟が、今、深層国家の要員や**陰の政府**の工作員のブルペンであることを、よく知っている時の権力は、ほとんど、いつ何どきでも、大統領を肉体的に拘束することができ、しかも全く自由にやれる。

言い換えると、もしトランプが、ジョージ・ソロスを、アメリカ共和国への反逆者として逮捕せよと命令するとしたら、その命令が直ちにゴミ箱に入れられるのは、全く簡単である。

参照「ソロスは内乱を防ぐために、逮捕され、起訴され、投獄されねばならない」

<http://stateofthenation2012.com/?p=81437>

万一、トランプがそれをツイートで発表すれば、その命令は先制攻撃的に消去されるだろう。

もしトランプが、任意のライブの発表手段を用いて、リアルタイムで直接、アメリカの民衆に話しかけるなら、彼は、暗殺の脅威を口実に、急いで舞台を下ろされるか、彼を効果的に無力化するために、直ちに注射を打たれるだろう。

就任式以来、トランプが公共の面前に立つ予定のとき、彼が明らかにドラッグを与えられたことが、すでにあった。

ここで確実なことは、大統領は、本当に非常に危ない綱渡りをしているということである。しかもホワイトハウスは、**世界で最もモニターされている**、オフィス牢獄だということだ。

現実に、彼の今後の予定が厳しく制限されていることは、一般教書演説が（ナンシー・ペロシによって）キャンセルされたことに現れている。それはまた、ソフト・クーデタが、ゆっくり進行しているからである。次のように：——

「ペロシの陰謀：NWO グローバリスト陰謀団が、深層国家を用いて、クーデタの背後でクーデタを起こそうとしている」 <http://stateofthenation2012.com/?p=114036>

結論

トランプは、第2のアメリカ革命のコンテキストの中で、彼の最初の機能を果たした。彼はNWO グローバリスト陰謀団に対する、革命の引き金を引いた。彼らは、何十年もの反逆と破壊と扇動を通じて、我々の国家を陰險なやり方で奪った。例えば、トランプのツイッターの内容のおかげで、今、我々は全員が「**メディアは人民の敵だ**」ということを知っている。

「主流メディアは人民の敵だ！」 <http://stateofthenation2012.com/?p=102008>

今、我々の任務は、彼らがアメリカ政府のどこに巣食っていようと、主流メディアだろうと、社会の他の組織だろうと、共和国に敵対する反逆者を除くことである。

トランプ大統領はこれを一人でやることはできない——いかに頑張っても。その上、これはアメリカ人民のなすべき仕事である。グローバリスト犯罪者どもに、我々の国を奪わせたのは我々であり、我々だけがそれを奪い返すことができる。

この重大な責任は、今、あらゆる生きているアメリカの愛国者の肩に、例外なく、重くのしかかっている。我々は、アメリカ（ナショナリスト）か、彼ら（グローバリスト）か、という分かれ目にいる。

「我々人民」は文字通り、命を懸けて戦っている。もし2020年に民主党が大きく勝つよう

なことがあれば、すべて終わりになる。実に、建国の父祖たちによって考えられたアメリカ合衆国は、終わりになる。もし読者がこの厳しい現実を理解できないなら、カリフォルニアの酷い惨状をしっかりとご覧になるとよい。

時間に余裕はない。リベラルのボルシェビキたちが、なけなしの自由と、自己防衛のためのわずかの権利を奪う前に、我々の国家を取り戻そうではないか！ そして彼らを、権力と影響力の腐敗した地位から、引き降ろそうではないか。